

薬学部薬学科

学位（教育）プログラム名：薬学

①教育内容

薬学の学位（教育）プログラムにおけるカリキュラムは、ディプロマポリシーに掲げた薬の専門家として必要とされる【知識・理解】、【技能】、【態度・志向性】を段階的、発展的に身に付けることができるように編成されている。

- 1) 基礎薬学、衛生薬学、医療薬学、臨床薬学に関する知識、技能を体系的に学べるような科目を配置する。
- 2) 薬剤師として必要とされる薬物療法や地域の保健・医療における実践的な知識、技能、態度を修得するために、実務実習を開講する。
- 3) 医療人である薬剤師としての意識を高め、倫理観、ヒューマニズム、コミュニケーション能力を養う科目を開講する。
- 4) 社会のグローバル化に対応するために、薬学に関する科学英語を学ぶための科目を開講する。
- 5) 医療に関わる有益な情報収集、分析、活用する能力を養う科目を開講する。
- 6) 研究課題を通して、問題解決能力・研究能力を養うことと人格形成のために、薬学研究を開講する。

②教育方法

- 1) 「薬学教育モデル・コアカリキュラム」に準拠した科目と本学部独自の科目を体系的に編成し、講義、演習、実習を適切に組み合わせた授業を行う。
- 2) 実習科目では、講義科目に対応した内容を少人数制で行うことにより、専門知識を高め、実践的な技術や技能を習得させる。
- 3) 薬剤師として必要とされる総合的かつ実践的な知識・技能・態度を修得するために、実務実習として病院と薬局において臨地実習を行う。
- 4) 医療倫理、自己表現力、コミュニケーション能力、問題解決能力などを養うための科目を、低・中・高学年次に継続的に開講し、スモールグループディスカッション(SGD)、ロールプレイ、プレゼンテーションなど多様なアクティブラーニングを実践する。

【共通教育】

共通教育のCPに関しては別に定める。

共通教育に関するCPをもって学位（教育）プログラムCPを構成する。